



シリーズ⑤

大山町家庭学習のすすめ!

中山小学校レポート! 家庭学習への位置づけ

中山小学校では、基礎学力の確実な定着と主体的に学ぶ児童の育成を目指し、授業の質の向上と家庭学習の充実に取り組んでいます。

特に今年度は、家庭学習の更なる充実を目指して、①学校で共通した取組を進める。②保護者と連携を図る。③家庭学習を促す取組を進める。④授業との関連を図る。⑤児童が自ら学ぶ習慣をつくることを重点としました。

【学校全体での取組】

町内全ての小・中学校に配布されている「大山町家庭学習の手引き」を活用し、発達段階に応じた段階的な指導ができるように、校内で共通した取組を進めています。



▲(家庭学習の様子)
高学年では課題を自分で選択し、学習を進めています

- ◎学びを促す家庭学習
- ①漢字練習と音読を全てのクラスで取り組む。
- ②個人差に応じたプリントなどの学習をする。
- ③テーマを決めて自学ノートにまとめるなど、自分で選択し学習を進める。
- 家庭学習の型を、学年や実態に応じて組み合わせ、子どもの学びを促しています。

◎中学校との連携
昨年度から小・中学校で乗り入れ授業(授業交流)を行っています。家庭学習と関わりのある生活・学習習慣について話し合い、ノートの取り方や時間の使い方など、共通して家庭学習に取り組むようにしています。

【PTAとの連携】

家庭学習を支えるポイントとして、「生活リズムを整える」「学習の計画を立てる」「学ぶ環境を整える」「努力を認め励ます」ことが挙げられます。子どもへの具体的な働きかけをPTA総会や学校便り、懇談会で説明し、家庭学習への理解と協力をお願いしています。

また、PTA厚生部を中心に、毎月、「生活・学習がんばり週間」を設定し、学校と家庭をつなぐカードで家庭での取り組み状況を把握しています。

PTA広報部では、「広報紙みどりの広場」に家庭学習の特集記事、家庭学習アンケートの分析結果を載せるなど学校と家庭が協力して家庭学習の充実に努めています。

◎家庭学習を促す取組
教室掲示と校内掲示に家庭学習コーナーを設置しました。手本となるノートを紹介し児童の頑張りを伝えていきます。また教師によるコメントも書き添えて、学習への意欲を高めています。



▲(校内家庭学習コーナー)
各学年のノート掲示することで、上の学年での見通しがとれます

【授業との関連を図る】

今年度より月例テストを導入しました。これは、漢字と計算について出題範囲を決めて実施するテストです。月ごとに漢字力や計算力が把握でき、不合格ならば、再テストや支援を行っています。このテストに向けて児童は、自ら

計画を立て勉強するようになりました。自発的に学ぶ児童が増えていきます。

【児童の感想】

◎今回、漢字練習をがんばりました。100点がとれてうれしいです。次も計画を立ててがんばりたいです。(5年生)

【保護者の感想】

◎自分で目標とする結果が出た時は、とても満足そうです。計画をもって頑張れるように声かけをしています。

【児童自ら学ぶ習慣づくり】

児童が家庭学習を振り返り、意欲をもって学習を進めていくために、3年生以上の学年で家庭学習力アンケート(早稲田大学 田中教授作成)を実施しています。家庭学習での自分の課題が分かり、向上心をもって頑張ろうという意欲が育っています。

【児童の感想】

◎私は、勉強時間が少なかつたので、家で1時間以上がんばっていいこうと思いました。進んで学習する力は、クラスの平均より低かったので進んでがんばろうと思います。

(6年生)